

西脇市高齢者安心プラン西脇市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(案)に対していただいたご意見の概要と西脇市介護保険運営協議会の考え方

1 募集期間: 令和5年12月1日 ~ 令和6年1月4日

2 提出件数: 2件(2名)

3 主な意見とその対応

(1) 意見を反映したものの(0件)

(2) 既に盛り込み済みのもの(0件)

(3) 反映困難なもの(0件)

(4) 今後の参考とするもの(1件)

ページ	項目等	意見等の概要	件数	意見への考え方
54~56	第4章 計画の評価と具体的な取組 2 第9期計画の具体的な取組 基本目標2 地域における包括的な支援体制の推進 (2) 在宅生活を支えるサービスの充実	私の住む地区は高齢者が多いですが家族と一緒に暮らす高齢者も多いです。公共交通機関(電車や民間バス)も通っていないため成人すれば一人1台自動車を所持しているお宅も多いです。加齢や疾患による身体機能や認知機能低下でやむなく自動車や自動二輪車を手放す高齢者もあります。高齢者の三大不安といわれる「健康・経済・孤独」。多くの医学データが示しているように加齢と共に心身の不具合が増えてくるため医療機関の受診が必須ですが子や孫の世代は日中仕事に出掛け送迎してくれる家族はありません。そのため、乗り合いタクシー「むすぶん」が市民の間にも浸透していますが1台増えても予約が取りづらいという声を多く聞きます。地域住民同士の助け合いで補う手立てはないでしょうか。通いの場への参加率を上げるためにも、まずは移動手段の確保が重要ではないでしょうか。住民の善意のみに頼るのではなく、仕組みづくりを是非ご検討いただきたいと思います。	1	高齢者の自立した在宅生活を支えるためには、移動手段の確保が必要であると考えております。介護予防・生活支援サービス事業の住民主体等による移動支援については、研究を進めてまいりますが、第9期においては、他の交通機関と役割を分担しながらコミュニティバスやデマンド型交通の利便性の向上に努めてまいります。また、デマンド交通等の利用が難しい高齢者等についても、タクシー券の交付により移動支援を行うとともに、通いの場への参加率向上については、自分で通える場所に通いの場があることを目指して、現在の35箇所から実施箇所数の増加に努めてまいります。

(5) その他(1件)

ページ	項目等	意見等の概要	件数	意見等への考え方
76	第4章 計画の評価と具体的な取組 3 第9期計画の目標	第9期高齢者あんしんプランを拝見しました。いよいよ2025年を前にした計画作成である為、評価を受けての今後の取り組みが具体的であったと思います。目標数値については前年度評価を受けて検討する内容もありましたが、高齢化が進む中、フレイル予防については2025年問題の中での計画である為、もう少し目標設定が高くてもよいのではと率直なところ思いました。あくまでも個人的な意見です。	1	第9期の基本方向として、「高齢者の健康づくり・社会参加を通じた介護予防の推進」を掲げており、第9期計画の目標として「通いの場への参加率」を5.2%(人数にして672人)と設定いたしました。通いの場への参加者のうち75歳以上の方が67.7%と最も多い反面、例年、退会者が100人前後あること、また、同じくフレイル予防を主な目的とする健幸運動教室Ni-Co及び健幸ポイント事業に参加する75歳以上の方が674人(全体の28.1%)と多様化していることを踏まえ、現在の参加者数644人から約30人増となる参加率5.2%を目標としたものです。今年度実施している通いの場評価事業の結果をもとに、今後も内容の充実と規模の拡大を目指してまいります。